2023年度 洲本市地域おこし協力隊 活動中間報告会

企画課 藤田 美沙子

自己紹介

自己紹介 主な活動

大阪府大阪市 転出元

委嘱日 2022年6月~(活動期間1年5ヶ月)

















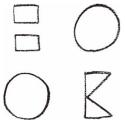
自己紹介 主な活動 Tayutau

主な活動





淡路島ゼロイチコンソーシアムの推進 および淡路島クエストカレッジのプログラム運営



中川原町二ツ石の交流拠点「HOOK」 古民家再生とイベント開催

Tayutau

Awajishima Herb & Aromatherapy ハーブを用いた自主ブランドの立ち上げとイベント出店

私が感じた洲本市の現状と課題

「洲本市には何もない」と答える人が多い ソトモノとの接点作りで、まちの魅力の再認識と掘り起こしを

淡路島ゼロイチコンソーシアムや淡路島クエストカレッジのプログラムで、大学生とフィールドワークをしたり、住民の方へのインタビューやヒアリングの機会があり、「このまちの持つ魅力ってなんだと思いますか?」や「このまちの見どころを教えてください」と聞くと、「え〜なんもないよ、ここは。」と答える住民の方が非常に多い。(学生さんからも、この言葉に驚いたという感想が多い)

島外から訪れる大学生や企業人は、「ただ歩いているだけで楽しい。」「美味しいものを食べられて、空気も美味しい。海も見れて、最高!」と口々に話す。ソトモノの視界ではそう見える。

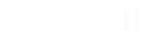
人口減少や過疎化は止められない日本の現状。でも洲本に関わったり訪れる人を増やすことはまだまだできる。当たり前だと思っていたことを面白がるソトモノとの接点は、まちのプライドを再認識するきっかけにも繋がる。そういった活動を、今後も続けていきたいと考えています。





コンソーシアム

淡路島ゼロイチコンソーシアムの推進







株式会社シマトワークス【構成員】 @

シマトワークスは、淡路島を拠点とした企画提案を行ないます。島に溢れる美味しい食 材、心態きつけられる場所、伝えたい文化、素敵な人などに、新しい価値を結びつけ、島 に寄り添いながら「わくわく」する企画を提案します。

shimato works

淡路信用金庫【構成員】 🗗

しています。「お金を預かる」、「お金を貸す」ことにとどまらず、個人、法人を問わず の中央部に位置し、大阪湾に面する本市の市街地は洲本城の城下町として、古くから政 一人ひとりのお客様と向き合い、サポートし、地域全体を元気にしていきます。

○ 淡路信用金庫

兵庫県洲本市【構成員】 @

淡路島および高砂市~尼崎市を営業エリアとして、金融サービスを通じて地域経済に貢献 洒本市は、都市感と田舎感がちょうど良い感じに調和した「トカイナカ」なまち。淡路島 治、文化、経済の中心都市として栄えたまちです。

株式会社成田【会員】

当社は創業74年の会社です。淡路島の公共の維持・修繕工事の分野で営業してきました。 兵庫県発注の道路維持・修繕工事において、淡路地域の維持・修繕工事シェアNO.1を誇り ます。今後は創業100年を目指し、公共に限らず民間にいたるまで、日本中の地域のお困 り事を解決していける企業になっていきます。



株式会社日建ハウジングシステム【会員】

私たち株式会社日建ハウジングシステムは、日建グループの「価値ある仕事によって社会 に貢献する」という理念に則り、集住施設のエキスパートとして、新しい価値を生み出す こと、社会の発展に寄与することを目指します。



株式会社ワークアカデミー【会員】

「人」と「自然」が調和した環境とまちの未来をつくること、それが私たちのミッション 私たちは、1982年の創業以来、「夢と勇気が人を育てる」という経営理念のもと、教育機 AKKODISコンサルティングは「日本を、課題解決先進国に。」を新たなビジョンとして掲 るニーズに順応した技術の研鑽、環境と社会のより良い発展のための新技術の開発や社会 資格講座、企業研修、人材紹介、教材開発等、幅広い教育サービスを展開しています。



AKKODiSコンサルティング株式会社【会員】 🗗

です。社会を取り巻くさまざまな課題に、柔軟かつ適確に対応すべく、新たな社会が求め 関、自治体、企業それぞれとの強いパイプを活かし、ビジネススクール、大学授業運営、 げ、これらの課題に対しても貴正面から向き合い、企業のビジネストランスフォーメーシ ョンを支援するパートナーとして選進してまいります。



富士通株式会社【会員】 』

世界を取り巻く課題は、日々複雑さを増しています。 富士通デザインセンターの役割は、そんな捉えどころのない課題をやさしくときほぐし、 解決の可能性を広げることです。

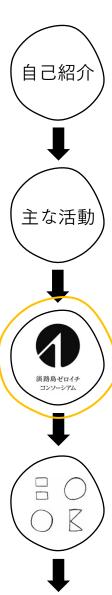
NEW!!

への実装に取り組んでいます。

株式会社建設環境研究所【会員】



現在の島外参画企業は5社。 2023年7月に富士通デザインセンターが参画



Tayutau



淡路島ゼロイチコンソーシアムの推進

富士通デザインセンター洲本プロジェクト 「デザイン思考で地域の課題を捉え直す、解決方法を考える」



松井晶子 富士通デザインセンター 戦略企画部 ソーシャルデザイナー 佐渡島での地域創生に従事 グロービス2020年卒業



橋元仁美 カー・広告系企業の保 こて心身健康サポート 離島留学経験者 コーピス2020卒業



奥野 藍子 大阪在住、株式会社リニカ ル 臨床開発の支援事業 品質管理本部 従兄弟が淡路島在住 グロービス2020卒業



三崎 菜緒子 渦潮エンタープライ ズ株式会社 ブランド戦略課 ブランドマネー ジャー



樫野 百瀬 流通科学大学 商学部経営学科 3年 早期卒業後MKT会社入社予定 AwajishimaSodateteMarket ボランティアサークル立ち上げ



宮下 真希子 株式会社セブン&アイ・ ホールディングス 経営推進本部 グロービス2019卒業



中村寛 多摩美術大学 人類学者



富田 祐介 株式会社 シマトワークス



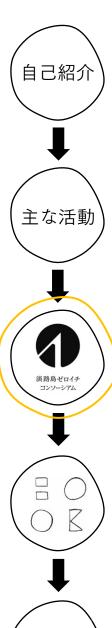
洲本市地域お こし協力隊

洲本プロジェクトメンバー

コンソーシアム 事務局



- ・週1回ペースのディスカッション
- ・フィールドワーク/ インタビューのコーディネート
- ・イベントの企画及び運営サポート etc



Tayutau



淡路島ゼロイチコンソーシアムの推進

7月17日

市街地リサーチと 住民ヒアリング



9月2日~3日

SBRICKイベントにて、 島内外の人々を交えてワーク (2日間で49名が参加)



10月21日~22日

五色リサーチ&ヒアリング 課題抽出ワークと交流会



→約半年間で、洲本市の課題抽出〜仮説立て〜検証ワークを繰り返しながら、 年内を目処に洲本市の課題と解決案、それに対するプロジェクトメンバーの関わり方をまとめている





淡路島クエストカレッジ今期開催したプログラム

4月10日 淡路信用金庫 新入社員研修 7月31日 テキサス大学生 農園見学&藍染体験 9月1日 mt×洲本市域学連携10周年 マスキングテープアートプログラム 9月23日 龍谷大学1年生スタディツアー

淡路島クエストカレッジについて

淡路島ゼロイチコンソーシアムが立ち上げ、今年4月にスタート。 大学生や若手社会人を中心とした多種多様な組織や個人が「冒険人」となり、 淡路島・洲本市を中心に、地域の抱える課題や地域資源の利活用に挑戦し、 人や地域との繋がり、自身と地域の未来について考える場です。 構想の全体設計や、地域・行政・企業・大学と連携したプログラムのコーディネートと運営を行います。







主な活動







Tayutau

Awajishina
Herb & Aromatherspy



淡路島クエストカレッジプログラム運営

4月10日 淡路信用金庫 新入社員研修

「この街をもっと面白くするには?」をテーマに、市街地をリサーチ&ヒアリングし、チーム提案。



7月31日 テキサス大学生の農園見学&藍染体験

淡路島に滞在している大学生との交流と 淡路島の農業や文化に触れる。







9月1日 mt×洲本市域学連携10周年 マスキングテープアートプログラム

「市街地のリサーチとインタビュー を通して、mtを使ってまちが賑わうイベントを考える」と
「mtのマスキングテープを使って洲本市役所庁舎をデザインする」の2つをテーマに開催。
株式会社ワークアカデミーとの協働し、大阪経済大学と武庫川女子大学の2校が合同参加して実施した。
8月23日~9月10日にかけて実施、洲本市での実地ワークは9月1日。



























9月23日 龍谷大学1年生スタディーツアーin洲本

龍谷大学政策学部1年生を対象に、洲本を含んだ関西4エリアの地域で合同開催。洲本では80名が参加した。 「洲本市の資源と課題を知る」と「新たなゼロイチを生み出す力や考え方に触れる」をテーマに、 洲本市の活性化に取り組み続ける"冒険人"にインタビューと市街地を中心としたフィールドワークを実施。











淡路島ゼロイチコンソーシアム・淡路島クエストカレッジ 活動の効果

- ・淡路島コンソーシアム及び淡路島クエストカレッジの活動を通じて、 島外の大学生や社会人が訪れ、洲本市を知るきっかけ作り (大学生約120人、企業人約10人)
- ・地域住民や洲本市街地で活動している人へのインタビューで、 ソトモノと地域住民の接点作り





中川原町二ツ石に交流拠点「HOOK」を作る



「HOOK」について

中川原町二ツ石の築100年の空き家を、島内外の人が訪れる交流拠点に。
"100の好奇心が集まる場所"がコンセプト。
知らない世界や多様な価値観に触れた時のワクワクと、没頭する感覚を、
イベントやコワーキングスペースでの滞在を通して提供する場をつくります。
将来的には島から世界へ、好奇心あふれる人・場所・文化を発信していくことが目標。

好奇心と滞在する

移ろい行く四季折々の自然風景とゆっくりと流れる時間を感じながらコワーキングスペースとして活用 レンタルスペースとしての貸し出しや自主企画又はタイアップイベントの実施場所としての活用



好奇心に触れる

命を感じる好奇心 好きを確認する好奇心 考えるを深堀する好奇心 狩猟と解体体験 野菜やハーブの栽培と収穫 アート展示

日常を彩る好奇心 生活を洗練する好奇心 好奇心を試行する好奇心

地元特産を使った料理教室 大工と家を小屋をつくる

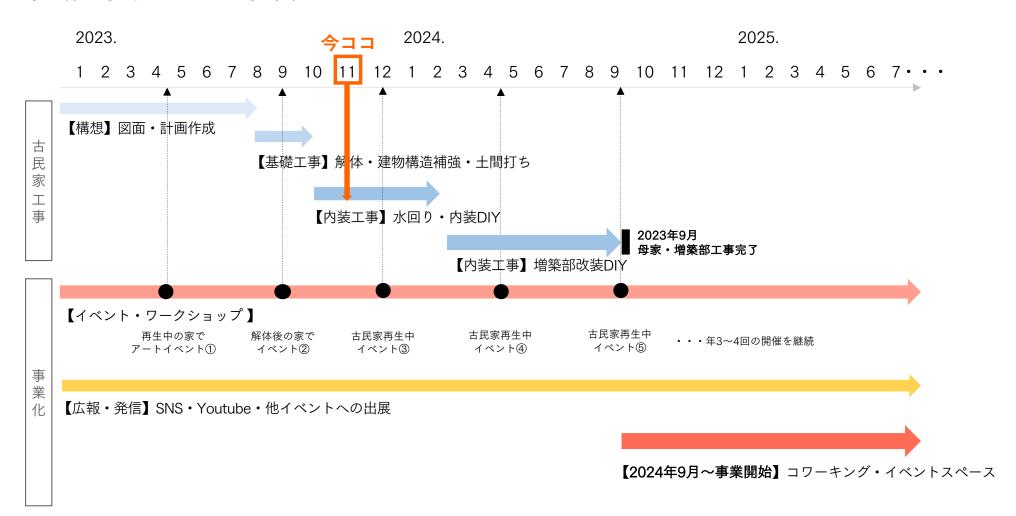
養蜂・魚釣り

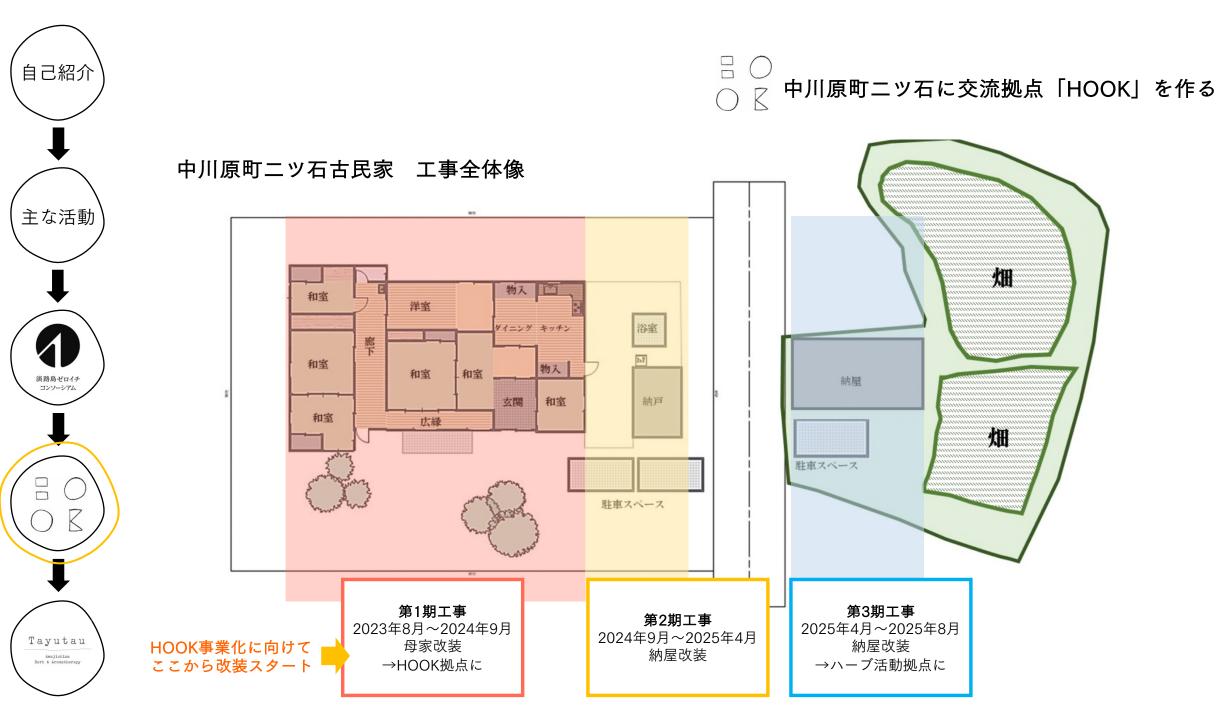
etc...



□ ○ 中川原町二ツ石に交流拠点「HOOK」を作る

第1期工事 及び HOOK事業化スケジュール



















□ ○ 中川原町二ツ石に交流拠点「HOOK」を作る

工事の進捗

- ・躯体の傾き補正と構造補強 ・暗渠排水管と土間コンクリート基礎作り ・床組み ・防蟻
- ・家裏の樹木伐採 ・離れ浴室と汲み取りトイレ撤去 ・浄化槽設置

















主な活動











中川原町二ツ石に交流拠点「HOOK」を作る

イベント・ワークショップの開催



8月27日

解体オープンデーと交流会 5名参加



2023 — SUN 08/27

床と壁解体

9月9日~10日

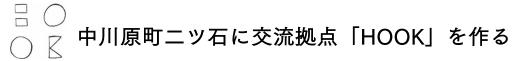
古民家再生を知る オープンデーと交流会、 大工さんと廃材で椅子を作るWS 約20名参加





地元高校生も 2名参加





HOOK 活動の効果

- ・再生中の古民家で定期的なイベントやオープンデーを開催、 洲本市中川原町二ツ石という場所の認知と空き家再生について知る場づくり
- ・近隣住民の方から、「もっとこういう活動をやってほしい」という声を頂きました
- ・洲本高校の先生や学生がイベントやオープンデーに訪れたり、学生が家の解体で出た廃材を用いて作った美術作品を作って、表彰。廃材の新たな利活用や、次世代を担う若い世代とのつながり

また、所感として・・・

中川原町は淡路島中央ICからのアクセスが良く、島外から訪れやすい。かつ、洲本市街地まで車で15分、五色まで車で20分と、洲本市内の行き来もしやすい。豊かな緑あふれる自然風景があり、少し車を走らせれば海もある。本当に良い場所で、可能性のある場所だと思うので、もっとこの場所をいろんな人に知ってもらいたい。





今考えていること(ご意見ください)

- ・HOOKが、季節仕事の情報が集まる拠点になれないだろうか?
 - 一次産業従事者の「季節仕事で一時的に人手確保をしたい」ニーズと、主に島外から訪れる人の「農業や漁業を手伝いたい」ニーズの、仲介役になれないか? おてつたびのドローカル版のイメージ。
 - →地元の人とソトモノが接点を持つきっかけを作る
- ・HOOKが、農業や古民家改修に必要な道具が集まる拠点になれないだろうか? 農業や古民家改修に興味はあっても、必要な道具を揃えるのにコストがかかり、容易に始めづらい。 また、一時的に人に手伝ってもらいたい時や、ワークショップを開催したい時も、 その都度道具を追加購入するのはコストがかかり、やりづらい。 地域内に交友関係があれば貸し借りができるが、ソトモノにはハードルが高い。 そこで、洲本市と協力して、HOOKが道具が借りられる拠点になれないか?
 - →耕作放棄地や空き家問題の解決のきっかけ、移住促進にも さらに、借りる者同士の情報交換が生まれれば、新たなコミュニティ形成に



Tayutau Awajishima Herb & Aromatherapy

ハーブを用いた自主ブランドの立ち上げとイベント出店

今年の活動

身近な草木とハーブやスパイスを組み合わせた香りのプロダクトを製作中。 卒隊後の事業化に向けて、商品開発とイベント出店を進めています。

- ・中川原町二ツ石の畑でハーブを十数種栽培
- ・自生している草木や栽培したハーブを使って蒸留、精油作り
- ・今秋より、**ベチバーの栽培育成**を実験をスタート (耕作放棄地の利活用の模索)
- ・11/26に淡路島マンモスイベントにて出店 セイタカアワダチソウとクロマツを 取り入れたプロダクトを現在試行中





最後に

地域おこし協力隊の意義

ソトモノと地域の接着剤、まちの新しい価値や発見を生み出す

洲本市地域おこし協力隊の魅力

やってみらんか精神、ミッション設計の自由度の高さ